

どんな風に施術は行なわれる?

施術プロセスは福祉美容といえども通常のサロンワークとほぼ一緒。ただし、細やかな気づきがい、利用者との距離を縮めてくれる。

process 2: 施術開始

カットスタート。高齢者は長時間同じ姿勢だと身体への負担が大きい。そのため、スピーディに施術を行なう。カットのみの場合、施術時間は15分以内を目安とする。



Attention!
車イスに座っての施術では、車いすの車輪、利用者の足元に髪の毛がつかないよう、大きめのクロス(車イス全体を覆う程度)を使用する。

process 1: ヘアスタイルの設定

髪型を決めるときは利用者(もしくはご家族)の希望を優先する。似合わせなどを無視し、短くカットするだけの、いわゆる「施設カット」「老人カット」は絶対にNG。



暖かくなってきたから、さっぱりしたいわ

今日はどうしますか?

process 4: 最終確認

仕上がり鏡に映して確認してもらう。カット終了後は顔や首についた髪の毛をフェイスブラシやタオルを使ってきれいに払う。また頭皮の中に髪の毛が入っていることもあるので、ブラシやドライヤーで取り除く。



いかがですか?

あつ! いいわね~

process 3: 顔そり

カット終了後、リクエストがあれば無料サービスで顔そりを行なう。高齢者は自分で剃りを使用することが禁止されている場合が多いので楽しみにしている方が多い。



ありがとう~

Attention!

顔そりは理容師免許取得者が担当する。

Comment コメント



医療法人 丸山会 介護老人保健施設 ケア大宮花の丘 事務長 木幡 賢氏

「ケア大宮花の丘」では、施設の一角に理美容スペースを設け、月に2~3回、福祉理美容師に来ていただいています。入居者からとても好評で、事前に予約を受けつけると、瞬間に埋まってしまいます。「いくつになっても美しくいたい」と思っている高齢者は多く、美の追求は生きる活力にもつながっていきます。理美容は、介護施設を運営していく上で、欠かせないサービスのひとつですね。

2か月に1回のカットを楽しみにしているの。それと、顔も剃ってもらってすっきりよ。



利用者の感想

いくつになっても美容室ってワクワクしちゃう。キレイになったでしよう。フッフ♥

事前に何を準備しておけばいい?

利用者の元を訪れる前には用意が必要。ぬかりない準備で最高のサービスを提供しよう。

Tool 道具

〈常備品〉

- ・せっけん
- ・手洗い消毒液
- ・エタノール(ハサミなどの消毒液)
- ・うがい薬
- ・マスク
- ・新聞紙
- ・タオル

〈カットの場合〉

- ・カットクロス
- ・ハサミ・コーム・ブラシ類
- ・フェイスブラシ
- ・ドライヤー
- ・ウォーターズプレー
- ・スタイリング剤

Check Point 確認事項

※施設訪問の場合

- 施術スペースと設備**
場所と設備によって、必要となるものが変わるので、事前にチェックしておく。
- 利用者の状態**
歩行可能か、車いすか、寝たきりかなどで、施術が必要となる道具や技術が変わってくるので、事前に知っておく。
- 利用者の病状**
安心・安全な施術を提供するために把握しておく。
医療器具(心臓ペースメーカーなど)の有無なども事前に確認しておく。

深める知識、美の福音

Beauty Intelligence

社会に向けて美容ができること

福祉美容の現状

後編/福祉美容の現場

高齢者を対象に理美容師が訪問し、サービスを提供する福祉美容。一体どんな環境でどのように施術が行なわれている? まずは、知ることからはじめてみよう。

埼玉県・さいたま市の「ケア大宮花の丘」におじゃましました!



柔軟な対応と介護技術が求められる

「NPO法人日本理美容福祉協会(鈴木心一理事長)は、約80名が入居する埼玉県さいたま市の介護老人保健施設「ケア大宮花の丘」に月2回程度、福祉理美容士を派遣している。今回は、同協会城北センター副代表の宮崎直美さんに同行し、その現場取材(左ページ参照)した。どのようにして施術が行なわれているのかをレポートするとともに福祉美容の実態についてお話も伺った。

「こちらの施設は、専用の理美容室があり、シャンプー台も完備されていて、とても恵まれた環境です。ただし、このような整った環境で施術を行なうことはまれなケース。床に髪の毛を落とさないスペース(畳やカーペット)でのカットや、シャンプー台なしで洗髪を行なうことが多いです。そこで、理美容師には「床に髪の毛を落とさない部屋ならば床に敷く大きめのシートを用意する」といった細やかな対応や「シャンプー台がなければ洗面台で洗髪する」などの専門性の高い技術が求められます」(宮崎)

さらに福祉美容では、理美容師としての能力だけではなく、介護士としての側面も必要となる。車イスの操作の仕方や高齢者の病氣・障がいと生活の特徴などを理解しておくことも大切だ。知識と技術を備えた上、高齢者に敬意をもって美容を提供することが求められるのだ。

まとめ

福祉美容の技術と知識をもって、高齢者に「美」を提供しよう

急速に増え続けている福祉美容の需要。提供する側はきちんと介護知識、技術を備え、安心・安全・安楽な施術を心がけよう。